



反射炉自然公園の開園にあたり市長らがテープカット

6/5 アヤメ咲く新名所 反射炉自然公園オープン
『第14回反射炉ホタルコンサート』に合わせ、葦山反射炉近くに整備を進めていた『反射炉自然公園』のオープニング式典を行いました。
この公園整備は、平成20年から2年間にわたって、県営農村振興総合整備事業・中自然環境生態系保全施設整備として進められました。公園の面積は3,535㎡で、舗装された広場と芝生広場が面積の約3分の2を占めています。他にも多目的トイレや水飲み場、木製デッキ、ベンチ・テーブルなどがあります。
また市の花・アヤメも植栽されていて、毎年5月頃には紫色の美しい花を咲かせます。

6/5 歌や踊りで「ホタルこい」 反射炉ホタルコンサート
この日、『ホタルまつりin伊豆の国』の特別イベントとして、葦山反射炉特設会場で『第14回反射炉ホタルコンサート』を開催しました。日中は出店やフリーマーケットが行われ、夕暮れからダンスや演奏が披露されました。訪れた人たちは、ライブアップされた反射炉前の幻想的なコンサートを楽しんだ後、古川護岸の自生ホタルを観賞しました。
「ホタルまつりin伊豆の国」は、今年も市内2会場で開催。葦山会場（古川護岸）では6月15日まで、長岡会場（小坂清水池親水公園）では13日まで、市内外から多くの人がホタル観賞に訪れました。



反射炉を背景に「ほたるの小径」等を合唱する出演者



県大会の好成績を市長に報告する田方消防

6/10 県随一の救助技術を証明 田方消防本部 全国・関東大会へ
先に静岡市で行われた『第39回静岡県消防救助技術大会』で優秀な成績を取った田方消防本部が、管理者である市長に成績を報告しました。
大会では『ロープブリッジ渡過』で鈴木佳祐消防士長が優勝し、『ほふく救出』で山田晴久消防士長、杉山哲也消防士長、下田貴士消防士長が3連覇を達成。ともに8月に京都で開催される全国大会出場を決めました。
また、5人組の『障害突破』で水口忍消防士長、長島順二消防士長、梅原正人消防士長、大竹正樹消防士長、大石明宏消防士長が出場し、4年ぶりに優勝。7月に神奈川で開催される関東地区指導会出場を決めました。
田方消防本部の優れた救助技術が、県大会だけでなく、全国・関東大会でも証明されることを期待しましょう。

6月中旬 夏の味覚を召し上げられ 伊豆長岡ブルーベリー狩り園
今年も、『ブルーベリー狩り』のシーズンがやってきました。
6月11日に『おざわさん家』で行われた開村式では、招待客が、ひと足早く夏の味覚を楽しみました。
ブルーベリー狩り村は8月中旬まで開園、車イスでの入場もできます。料金は各園によって多少異なりますので、直接お問い合わせください。
問合せ
おざわさん家（おざわ農園）
電話055（948）1205
渡辺さん家（渡辺農園）
電話055（948）3459
大富さん家（大富農園）
電話055（948）1133



ひと足早く夏の味覚・ブルーベリーを楽しむ来場者

5/23 泥スライディングでまちおこし 第1回伊豆どろんこフェスティバル
この日、『第1回伊豆どろんこフェスティバル（どろんこフェス）』が、江間いちご狩りセンター付近の休耕田を会場に開かれました。当日はあいにくの雨でしたが、市内初の試みに、県内外から多くの人が訪れました。
約7mの助走距離から泥んこの中に頭から飛び込み、滑った距離の長さを競う『どろんこスライディング競技』には160人が参加。参加者



『世界記録』を目指し、参加者が泥まみれになった『どろんこスライディング』

はずぶ濡れ、泥まみれになって『世界記録』更新を目指しました。
また会場では、泥の山や池で遊べる『親子どろんこ広場』なども設置され、子どもたちも心ゆくまで泥に触れ合いました。
どろんこフェスは、市内外の有志で立ち上げた『伊豆どろんこの会（白井忠志会長）』が企画し、市をはじめ多くの団体が協力、後援しました。



2日間で209人が見学した大仁中学校新校舎（写真右は外観、上は2階）

5/22 お披露目します新校舎 大仁中学校新旧校舎見学会
「本年度から授業がはじまった大仁中学校新校舎を見学したい」という市民や卒業生らの要望を受け、2日間にわたって新校舎と旧校舎の一部を一般公開しました。
新校舎は、旧校舎の北東側（以前プールがあった場所）に約1年半かけて建設されました。述べ床面積約6,600㎡、鉄筋コンクリート造り3階建てで、15室の普通教室や図書室は富士山が見える北側に配置しています。見学会には、市内外2日間計209人が訪れ、「近代的で快適な教育環境で生徒は幸せ」「太陽光利用など自然に優しいいづくりに感動した」などの感想が寄せられました。

5/29 伊豆の国ご当地演歌誕生 若山さん『湯の町みれん』発表会
歌詞に田方の地名が入ったご当地演歌『湯の町みれん』の発表会が、葦山時代劇場で開かれました。
『湯の町みれん』は、三浦康照さんが作詞、叶敬大さんが作曲した演歌で、「天城」「狩野川」「大仁」「長岡」など地元の地名が数多く登場します。
演歌歌手の若山かずささんはこれを機に、伊豆長岡温泉旅館組合から観光PR役の『湯の町大使』に任命され、同組合の松本浩行理事長から委嘱状、観光協会の安田昌代会長からたすきが贈られました。
若山かずささんの『湯の町みれん』はCD店で購入、またはカラオケ店で歌うことができます。



湯の町大使に任命された若山さん（写真中央）